

道徳科授業を

タブレット活用で充実させるために
～授業アップデート資料～

本資料は、タブレットを活用して道徳科の授業をどのように充実させられるかについて、学年別に実践事例を通して紹介します。従来の学習展開を踏まえながら、タブレットによって学びの効果を高める(授業アップデート)視点を取り入れ、心豊かな子どもたちの育成をめざしましょう。

子供たちが

- 1 一人一人の「問い合わせ」につなげる場面で
- 2 自分の考え方を「意思表示」する場面で
- 3 自分の考えを「広げる」場面で
- 4 他者の多様な考えを「知る」場面で
- 5 自分の考えたことを「振り返る」場面で

教師が

- 1 考えを「把握する」ために
- 2 問題を「焦点化する」ために
- 3 考えの変容を「捉える」ために
- 4 指導と評価の「一体化を図る」ために

道徳科授業でのタブレット活用のポイント

「問い合わせ」につなげる

導入の過程の目的

切実な課題意識をもたせるために、道徳的価値に対する現在の捉えや、実践できたりできなかつたりする時の気持ちを想起させ、矛盾する感情に気付かせていく。

目的にせまる手段（タブレット）

ロイロノート【アンケート機能の活用】

ワードクラウド

タブレット活用のメリット

子どもたちがねらいとする道徳的価値に関して、自分自身の考え方と他者の考え方の違いに気付き、「どうして○○なのだろうか」と子どもたちそれぞれの課題意識につなげることができる。

意思表示・広げる

展開の過程の目的

読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりの考え方をもつ。
自分と違う立場や感じ方、考え方を理解する。
自分自身の生活や考え方を見直す。

目的にせまる手段（タブレット）

ロイロノート【カメラ機能】【テキストカード】 【シンキングツールの活用】

タブレット活用のメリット

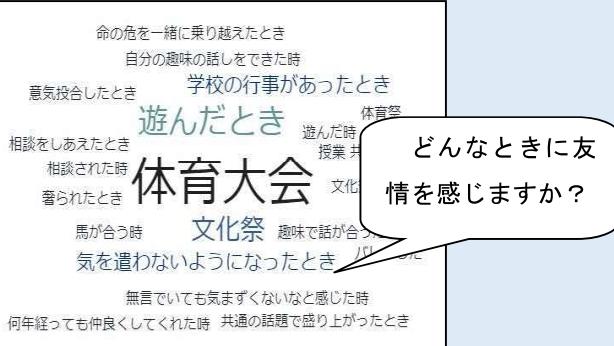
自分自身の考えを可視化しやすいため、共有を図ったり、一面的な考え方方にとらわれずに多様な考え方を促したりしやすい。また、他者の多様な考えを知ることにつなげたり、自分の考え方の広がりに気付いたりすることができる。

タブレット活用例

アンケート機能

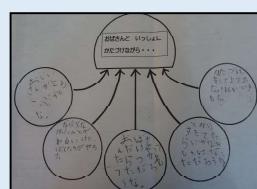


ワードクラウド



タブレット活用例

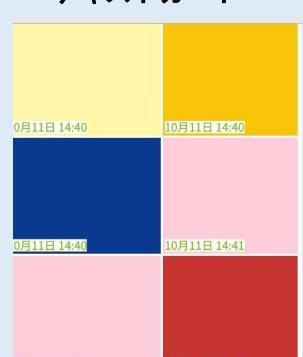
カメラ機能



心情円グラフ



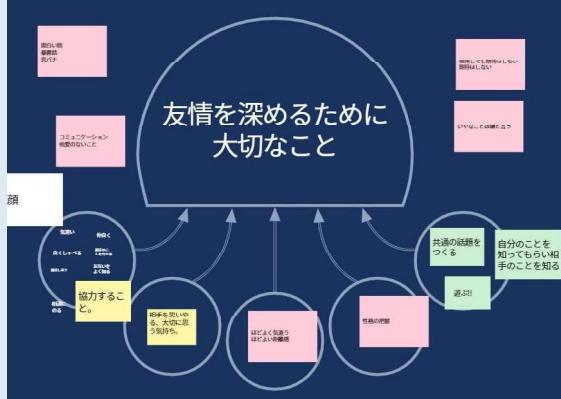
元きストカード



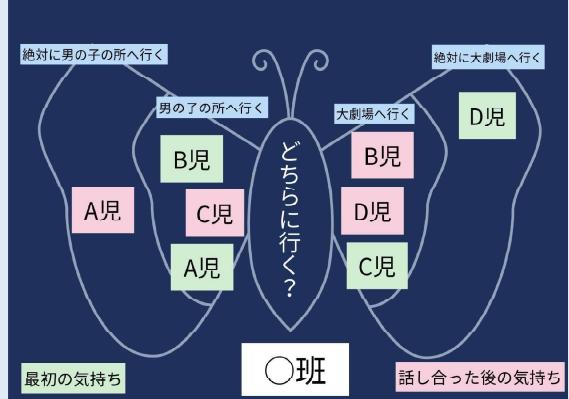
カメラ機能は、タイピングや書くことが苦手な小学校低学年にも導入しやすい機能です。

タブレット活用例

シンキングツール（クラゲチャート）



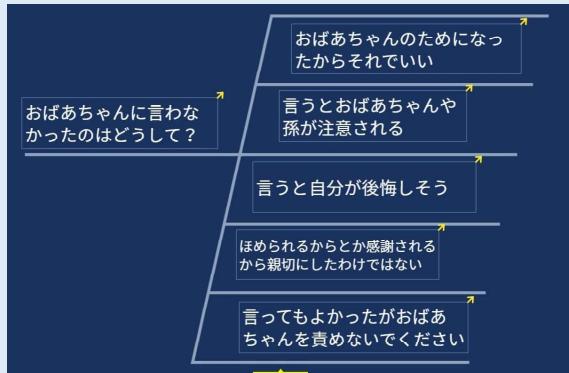
シンキングツール（バタフライチャート）



シンキングツール（ベン図）



シンキングツール（くまでチャート）



学習を振り返る

終末の過程の目的

子どもたちの課題が連続・発展し、実践化が図られるようにするために、学んできた過程を振り返らせたり、これから的生活を具体的にイメージさせたりする。

目的にせまる手段（タブレット）

ロイロノート【提出箱機能の活用】 【テキストカード】

タブレット活用のメリット

子どもたちが学習を通して新たに気付いた考えを記入した振り返りを蓄積することで、自分自身の変容を自覚することができる。また、今までの生活を振り返り、今後について可視化することで実践意欲を高めることができる。

タブレット活用例

提出箱機能



テキストカード

みんなが
きまりをまもると
**たのしい
クラスになる**

自分の考え方の変容を知る



他者の考え方で参考になったことや自分の考えに影響を受けた考えに印をつけて提出させる。子どもたちの考え方どのように再構築されたのかを見取ることができる。